

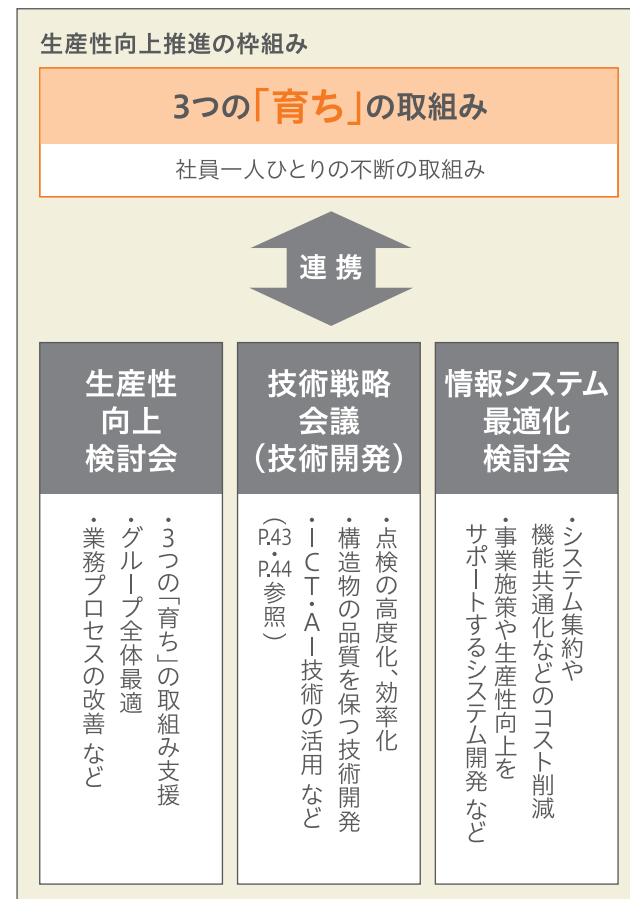
生産性向上

ステークホルダーの皆さまの期待に応え続けるために、
生産性向上の取組みを展開し、グループ全体最適を推進します。

- 主要施策**
- 効率性向上に向けた3つの「育ち」の取組みを推進します。
 - 生産性向上に向けたグループ全体最適化を推進します。
 - 褒める企業文化の醸成とともに更なる活動の充実と推進を図ります。

1 生産性向上の取組みの推進

経営環境の急速な変化に対応できる強固な経営基盤の構築をめざし、生産性を継続的に高めていく取組みを推進しています。社員一人ひとりが不断の取組みを行うとともに、生産性向上検討会などで、その支援や課題解決策を検討・展開しています。



2 3つの「育ち」の取組み

企業活動の生産性を高める視点から、次に掲げる3つの「育ち」の取組みを行っています。

【育ち1】経営理念等の浸透

経営理念等を社員一人ひとりが理解し自律的に行動することで、日々の業務の効率性向上につながります。所属長が主体となって浸透を図るこの活動は、「育ち」の基本となる取組みです。

【育ち2】自律的な業務環境の改善

各職場単位で自律的に業務効率化・職場活性化活動に取り組み、業務に集中し効率的に仕事ができる環境を整備します。

【育ち3】当事者意識と責任感を有し、自律的に考え行動する人財の育成

適正かつ効率的な業務遂行の観点から、コンプライアンスや「品質(Q)・コスト(C)・納期(D)」などの視点を重視し、OJTを通じて自律的に行動できる人財を育成します。

「育ち」活動を促進する主な取組み

■ LO(リードオフマン)・ML(ミドルリーダー)の配置担当業務を高いレベルで執行しつつ、経営理念に基づいて実務レベルの改善、改革に自律的に取り組む

者として、事務所の課長・工事長からLO、支社の課長代理からMLを任命しています。LO・MLがロールモデルとして所属する組織全体を感化し、活動を促進させています。

■ 3つの「育ち」活動の推進

年度当初に、所属長及びLO・MLが中心となり、組織単位で活動計画を策定し、3つの「育ち」活動を展開します。半期毎に取組み状況进行评估し、必要な見直しを行うことで、取組みをスパイラルアップさせています。全組織のLO・MLが出席するLO・ML会議(四半期に一度実施)では、自組織の取組みの好事例を共有し、水平展開につなげています。また活動全体の更なる促進に向け、毎回テーマを設けて活発な意見交換を行い、3つの「育ち」活動の活性化を図っています。

■ LO・MLと役員との意見交換

2015年度からLO・MLが役員と直接意見交換する機会を設けています。

3 グループ全体最適化の推進

限られた経営資源の効果的活用をグループ全体で推進すべく、最適な役割分担、業務プロセスの構築などに取り組んでいます。

業務プロセスの改善

過年度実施した①組織間の業務分担の見直し、②社員の業務分担の見直し、③グループ全体の業務分担の最適化については随時CA(チェック・アクション)を行い、常に最適となるよう不断の見直しをしています。また、コンプライアンス・ガバナンス・一定の品質の確保を前提として、業務の棚卸・手続の簡素化や、業務のシステム化に順次取り組んでいます。

業務分担の最適化と業務の縮減の両輪で生産性を高めた結果、創出された時間や労力を、更なる生産性向上や業務の高付加価値化に投入していくことで、グループ価値の向上と社員のワーク・ライフ・バランスにつなげていきます。

情報システム最適化の推進

システム集約・認証機能等共通化やクラウド導入などコスト削減しつつ、各事業施策の多様化に迅速に対応すること、社員の生産性向上に寄与することなどをめざし最適化を進めています。

4 褒める企業文化の醸成

日頃の創意工夫などに基づく優れた取組みを褒めることで更なる活動につなげることや、グループ内での水平展開、技術者の育成を目的に、グループ会社を含めた17カ所で「業務研究発表会」を開催しています。各会場から選抜された優れた取組みは、グループ全体の本選で発表され、グランプリをはじめとする各賞を表彰するとともに、グループ全体への水平展開を行っています。また、発表者によるワークショップを実施し、グループ内の活発な交流を図っています。

業務研究発表会参加件数の推移

